

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0770401495	
法人名	有限会社 そら	
事業所名	大地の家	
所在地	福島県いわき市四倉町西3丁目2-15	
自己評価作成日	9月26日	評価結果市町村受理日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「穏やかな日常生活の実践」を目標に日々をお過ごしています。
 安心できる自宅での生活。自己選択や自己決定が当たり前だった頃の生活。
 役割や達成感がある生活。笑顔にあふれる生活を目標に皆で協力しながら生活しております。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	平成23年11月21日

1. 事業所は利用者一人ひとりが自尊心を持ち自信を失わず、その人らしく生きさせてもらいたいとケア サービスに努めている。その第一歩として「食事と排泄の自立」との信念の下に管理者、職員一丸となって自立支援を行っていることが心身機能向上につながり、生活意欲や本来の個性、能力が引き出されて精神的安定をもたらし、家庭復帰した利用者もいる。
 2. 法人そらが全事業所の職員、利用者、家族、地域住民参加の合同行事を毎年主催していて、餅つき会、運動会、夏祭り、バザーなど、人と人とのふれ合いを通してグループホームへの理解を深めてもらい、地域との交流の輪を広げる活動をしている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	その人らしく過ごすための理念として、事業所理念を設けている。 理念を掲示し説明が必要な時には、理念の意味を説明するようにし理念の共有、その実践に取り組んでいる。	「穏やかな日常生活」を理念に掲げて、その人らしく過ごすための生活の基本となる食事と排泄の自立を最優先にしたケアサービスの実践につなげている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時のあいさつ、地域の行事、小学校・保育園の運動会やバザーなどに参加し地域の人々と交流を持っている。	毎日の散歩時に地域の人たちと挨拶を交わし馴染みになっている。畑の作物を差し入れにきてくれて地域の情報なども知らせてくれる。地域の行事、小学校・保育園の運動会には招待席を用意してもらい歓待をうけている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	老後を楽しむそらの会や高校生ボランティア(JRC)の受け入れなど人材や認知症ケアの啓発に努めている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	課題について話し合い、それをサービス向上に活かすよう努めております。	震災で事業所も平常生活を取り戻すことに専念する中、運営推進会議を実施して運営状況や今後の課題について話し合い、意見をもらったり、協力を得るなどしてサービスの向上に努めている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と日頃から連絡を密にすることが出来なかった。	今回の震災と原発事故で避難などもあり、十分な連携ができなかった。震災後の環境整備もできてきたので、市とも平常の協力関係になるよう図っている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解するために講習会などに積極的に参加し、身体拘束をしないケアを行っております。	日々の申し送り時に「身体拘束となる具体的な行為」の徹底理解を図っている。利用者が外出したい時は止めずに後から一緒についていき、様子をみながらさりげなく声を掛けるなど、利用者の自主性を尊重し自由な暮らしを支援している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定例会で理解の浸透や虐待が見過ごせることが無いよう注意を払い防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>定例会で理解の浸透を図っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>丁寧にわかりやすく説明を行っている。理念を含めケアに対する考え方や取り組みも説明し、料金に対しては説明し同意を得るよう努めている。</p>		
10	(6)	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員を月1回派遣してもらい、利用者の相談に乗って頂き、利用者からの話を意見として参考にしてている。</p>	<p>大地の家設立と共に家族の人たちが家族会を立ち上げ、利用者や家族の意見、要望の窓口になっている。事業所は家族会の意見や活動を運営に活かしている。</p>	
11	(7)	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定例会を月に1回行って意見を聞くようにしている。それ以外にも随時、耳を傾け活かしていくことを心掛けている。</p>	<p>今回の震災で職員の大半が離職したので新任職員とは日常的にコミュニケーションを図り、職場環境、条件の整備に反映させている。職員一人ひとりに気づきや提案を促し、意欲の向上や質の確保に努めている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働くよう努めている。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>意欲のある方には機会を設け、ない方には定例会や日常業務でやりがいを見つけて頂けるよう努め、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連絡協議会での交流・研修の取り組みをしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを導入する段階では、通常以上にコミュニケーションを軸に、安心の確保、より良い関係作りに努めている。</p>			
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>見学时、契約時、初期段階などでは、特に困っていること不安なこと要望に耳を傾けながら良い関係作りに努めている。</p>			
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人様が見学に来て頂ける場合は、ホームの雰囲気を見て頂き時間をとって説明させていただきます。本人様が見学に来られない場合は会いに行きます。</p>			
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>得意なこと好んでいることなど役割を持って頂き、共に支え合える関係作りに努めている。</p>			
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>一泊旅行、会議参加などの参加などの参加協力をお願いしたり、老後を楽しむそらの会のイベントに参加し、関係を築いている。</p>			
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>毎月個別の新聞を発行したり、年賀状や季節の便り、電話を使い関係が途切れないよう努めている。</p>	<p>利用者の手書きの年賀状や季節の絵はがきを友人や知人にお便りなどして関係が途切れないようにしている。家族会と協力しながら手芸会や手作り会などを企画して、地域住民との関係を継続出来るよう支援している。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>楽しく過ごせるよう考えながら、孤立せず関わり合いが持てる支え合えるような支援に努めている。</p>			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	見舞いへ行ったり、近くに来たからと寄って頂いたりしている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	言葉や表現などから希望や意向を把握し考えるよう努める。	職員一人ひとりが利用者の性格や価値観を把握し、その日その日の利用者の言葉や様子を察知して、さりげなく声掛けして思いや意向を聴き、記録し全員で話し合い気づきを心掛けている。	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	契約前の自宅訪問や見学時、特に利用初期段階など本人様やご家族から聞き取りをしている。		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	一人ひとりが役割を持てるよう注目し、得意なこと好きなことの把握に努める。		
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	面会時支払い時など課5区から要望などを聞き、スタッフ全員でモニタリングをしている。	職員の気づきや利用者の状態変化は、個々のケア記録に記載し、全職員でモニタリングとカンファレンスを行っている。家族とは随時メール交換して情報を共有し、現状に即したケアプランを作成している。	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	食事水分量、排泄など身体的状況、エピソードや気づき、本人様の言葉を記録し誰でも確認できるようにしている。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	日常生活の中、様々な状況に対応出来るだけ柔軟に対応している。 月間予定や1日の流れはあるものの、本人様やご家族の状況にあわせて変更している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>買い物や地域の清掃、散歩などを通じて楽しく暮らしている。</p>			
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>本人様又はご家族が希望した病院へ定期的に受診をしている。 適切な医療を受け入れるよう支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医受診は、職員が付き添い支援している。震災で協力医療機関が閉鎖中となっているが、法人関連医療体制が確立して適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関との連携で、協力医療機関の医師や看護師に情報や気になる点を相談し、適切な受診が行えるよう支援している。</p>			
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>退院受け入れの際は情報を頂いて対応している。</p>			
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用初期段階に説明をし、重度化や終末期に再度ご家族と話し合いを持っている。</p>	<p>入居時に重度化の対応を説明し同意を得ているが、身体的状況の変化時は、本人、家族の希望や意向を再度確認しながら安心と納得の得られるよう対応している。終末期に向けては、法人関連施設で支援できる体制になっている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>OJTで応急手当や初期対応の訓練をし、実践力を身に付けるよう努めている。</p>			
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は毎月行っている。 近隣の神社にお願いし、神社駐車場を避難場所としている。</p>	<p>毎月職員と利用者全員で避難訓練を行っている。今回の震災時は利用者に「避難訓練です」と避難誘導し、全員いつもの訓練通りに落ち着いて行動できた。利用者に不安を与えない誘導を今後活かして、万全な災害対策を図っている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定例会、ミーティング、日常の中で随時確認と改善をしている。	言葉掛けに注意を払い、一人ひとりの人格を尊重して日々のケアに努めている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スムーズな希望の表出が出来るよう、日々良好な関係を築く努力をしている。 迷いが生じた場合は選択できるような複数の提案をしご自分で選んで頂くようにしている。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や散歩など一人ひとりの状態や気持ちに配慮した支援、出来るだけ希望に添った支援に努めている。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時の化粧や洋服選びなど、本人の好みや気持ちに添った支援に努めている。			
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や配膳、片づけなど本人様と共に行い、皆で食事の時間を楽しく過ごせるように努めている。	季節の食材を取り入れ、硬さや歯ごたえに拘り調理されていて、利用者の好みに合わせた献立になっている。毎食後には職員と利用者で摘んできた薬草茶を飲み、会話をしながら楽しい食事をしている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりご家族から以前の状態を聞き、現状は医師の指示や医師との相談により支援している。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事やおやつの後には、スタッフが付き添い本人様に合わせた対応を行っている。また協力歯科医院の協力も得ている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンの把握により、トイレへの促しや誘導を行っている。	排泄の自立は全身機能の回復につながるとの信念の下、一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけなどして自立支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や適度な運動を一緒にすることにより、自然な排泄を目指し取り組んでいる。			
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の意向に沿ってゆとりを持ち入浴を楽しめるように神している。	毎日本人の入浴希望を確認し、浴室前に順番に名札を下げて利用者同士にもわかるようにしている。体調や本人の意向に沿って安心して入浴が楽しめるよう支援している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、夜型にならないよう生活リズムを整える努力をしている。 一人ひとりの体調や体力、希望などを配慮した休息が取れるように支援している。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが薬の目的や副作用、用法や用量を確認し理解することで、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが楽しみや気分転換など出来るよう支援している。			
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩は希望に沿って行い要望に添って家族の協力を得て自宅や戸外へ出向いていける支援をし季節を感じられる場所へ出掛けている。	利用者が希望する場所や外食、買い物、野草摘み、毎日の散歩と外出が日常の楽しみになっている。地元のお祭り見物、年2回は家族参加旅行が出来るよう外出支援をしている		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つ大切さを理解し、一人ひとりの希望や力に応じた支援をしている。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>年賀状、暑中見舞いなどの季節の便り、電話でのやり取りができるよう支援している。</p>			
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>古民家風な空間を意識し、囲炉裏や掘りごたつ、光の演出などを用い、居心地の良い空間になるよう努めている。</p>	<p>利用者が過ごしてきた時代を考慮して古民具などが置かれ、家庭的な共用空間になっている。リビングからは庭に出られるようになっていて、開放感と季節感が得られ近隣の人も訪れ安く団欒の場所になっている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>パブリックゾーンの居間やセミパブリックゾーンの広縁的廊下、食堂など思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>			
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様が使用してきたモノを利用して、生活が出来るようにお願いしている。 花や家族の写真なども飾ったり出来るようにしている。</p>	<p>使い慣れた家具や食器類などを部屋で使うことが出来、今までの生活が継続出来るように支援している。思い出の写真や花などを飾って自分らしく居心地のよい居室になるよう配慮している。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自立した生活を送って頂き、それでいて安全が保たれるよう努めている。</p>			